

(様式 5)

(回答者用)

設計図書に関する回答書		
令和 8 年 8 月 5 日		
回答者 建設部建設課長 (公印省略)		
業務名	令和 7 年度 市道道の駅しろいし線軟弱地盤対策設計業務	
業務場所	白石市大平中目 地内	
番号	質 問 事 項	回 答
1	二次元弾塑性 FEM 解析について 計画盛土形状を考慮した場合、低盛土のため供用後の交通荷重を考慮する必要が生じます。 この場合、圧密沈下も考慮した「二次元弾粘塑性 FEM 解析（関口・太田モデル）」で解析を行うのが適切と考えますが、協議による変更は可能でしょうか。	協議により設計変更の対象となる場合があります。
2	応力遮断鋼矢板の設計について 応力遮断の対策工法について、特記仕様書では「鋼矢板」の設計になっておりますが、計画盛土高さを考慮すると「鋼矢板」では応力遮断が難しいと評価されます。 この場合は、協議によって変更（地盤改良等）は可能でしょうか。	協議により設計変更の対象となる場合があります。